

私立大学図書館協会 2017 年度第 2 回東地区部会役員会
議事要録

日 時：2018 年 1 月 26 日（金）14：30～16：30

場 所：霞ヶ関ビル 35 階 東海大学校友会館 諏訪の間

出席校：会長校 名城大学	(佐川、皆見)
部会長校 東海大学	(伊藤、三井、紅谷、田崎、三橋)
研究部担当理事校 成城大学	(山本、新井、緑川)
分科会更新担当理事校 創価大学	(前田、石山、澤登)
分科会月例担当理事校 聖心女子大学	(花上)
地区ブロック選出理事校 郡山女子大学	(和知)
監事校 東洋大学	(齋藤、布施、高橋)

※敬称略

配付資料：

- ・私立大学図書館協会 2017 年度第 2 回役員会（以下「役員会資料」と記載）
- ・資料 1 私立大学図書館協会東地区部会事務長会・管理職研修（2017 年度）実施報告書
（NPO 法人大学図書館支援機構作成）
- ・資料 2 私立大学図書館協会 2017 年度第 2 回常任幹事会資料

議事に先立ち、部会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、東海大学付属図書館長伊藤一郎が担当した。

議 事：

[報告事項]

1. 東地区部会関係

(1)2017 年度東地区部会会務報告 2017 年 4 月～12 月

部会長校東海大学より、役員会資料（PP.5-8）に基づき報告があった。

また、部会長校東海大学、及び、地区ブロック選出理事校郡山女子大学より資料 1 に基づき事務長会・管理職研修会の報告があった。

(2)2017 年度東地区部会研究部活動報告 2017 年 4 月～12 月

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（PP.9-12）に基づき報告があった。

2. 2017 年度第 2 回常任幹事会報告

会長校名城大学より、2017 年 12 月 1 日（金）に開催された常任幹事会について、資料 2 に基づき以下のとおり報告があった。

第 2 回常任幹事会以降に、協会賞審査委員会より 2 件の推薦と研究助成委員会より 2 件の推

薦があった。詳細については3月上旬の東西合同役員会で諮る予定である。

また、【協議事項】「6.大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）への事務局員派遣に係る支援について」のその後の進展について質問があり、会長校名城大学より、現在のところ特に進展はない。今後も検討していくが、話がまとまらなければ支援しないか、もしくは協議を次期会長校に委ねることもありうる」と回答があった。

【協議事項】

1. 2017年度東地区部会事業報告

部会長校東海大学より、役員会資料（P.15）に基づき報告があり、協議の結果、承認された。

2. 2017年度東地区部会中間決算報告

部会長校東海大学より、役員会資料（P.16）に基づき中間決算について、以下のとおり説明があり、協議の結果、承認された。

なお、前年度部会長校が企画していた事務長会・管理職研修会を任期1年目に担当したが、実施にあたり内容を見直したため、経費が予算額を超えた旨の説明があった。

3. 2017年度東地区部会研究部中間決算報告

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（P.17）に基づき中間決算について、以下のとおり説明があり、協議の結果、承認された。

2018年度研究部交付金は2017年度からの繰越金を差し引いた差額分を交付する。

4. 2018年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校東海大学より、役員会資料（PP.18-19）に基づき、以下のとおり説明があり、協議の結果、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【事業計画（案）】

・地域活性化として「①地域研修（2016年度実施）」「②オンデマンド研修（2017年度実施）」「③事務長会・管理職研修会（2017年度実施）」を行っているが継続して実施するか検討が必要。特に事務長会・管理職研修会は隔年開催で、任期1年目に担当することになっており、前年度に企画段階で加わっていないために実施段階で見直しが必要となることがあるので、開催時期の見直しも必要である。

・上記については、「地域研修」と「事務長会・管理職研修会」を同じ年に開催するのは予算的にも無理があるが、研究部が「地域研修」のローテーションを変更するなどして、次期部会長校の時には任期2年目に事務長会・管理職研修会を実施できるか今後検討していく。

・2018年4月20日（金）に開催する第1回東地区部会役員会以降の会議には、次期部会長校の法政大学に出席をお願いする。

・第1回東地区部会役員会後に、次期役員校選考委員会を開催する。その会議には、今期役員校7大学とともに、次期役員校にも出席をお願いする予定である。

【予算（案）】

例年どおりの予算科目となっている。特記事項は以下のとおり。

<支出の部>

- ・事務長会・管理職研修会は開催しないので、支出なし。
- ・研究部交付金は、2016年度から研究部事業予算に応じた交付に変更となっている。また、2018年度研究部交付金は2017年度からの繰越金を差し引いた差額分を交付する。

5. 2018年度研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（PP.20-21）に基づき、以下のとおり説明があり、協議の結果、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【研究部活動計画（案）】

- ・運営委員・研究分科会代表者合同会議、研究会（交流会）の後の意見交換会は2018年度については行わない。
- ・研究分科会のうち、企画広報研究分科会が2年間の休会となっており、次年度参加者が集まらなければ廃会となる。
- ・オンデマンド研修については、2018年度は新規「雑誌コース」（25名）と「図書コース」（25名）を各1回ずつ開講する。
- ・研究部活動方針の「(3)研究部関連ホームページの安定的運用」を削除したいと発言があり、承認された。協会のホームページはCMSで内容の更新を行っているのに対して、分科会ホームページの部分は未だにFTP接続で内容の更新を行っているなど安定的とは言えない。しかし、現状では、CMSでの内容更新などホームページ移行のための予算が足りず、2018年度のホームページ移行は不可能である。従って、活動方針から「(3)研究部関連ホームページの安定的運用」を削除するが、今後のホームページ運用状況により、2019年度以降、再度掲載するか検討していく。

【予算（案）】

<収入の部>

- ・部会交付金は2017年度からの繰越金を差し引いた差額分の交付となっている。
- ・研究会と研修会参加費収入は意見交換会を予定していないので、収入なし。

<支出の部>

- ・オンデマンド研修費については、「図書コース」の改修は行わず、「図書コース」「雑誌コース」の運営費のみを計上している。
- ・運営事務費には研究部資料を電子化する費用を計上しているが、2018年度も実施が不確実なため、予算を減額している。
- ・研究分科会のホームページ移行については前々期のホームページ委員会の時から検討されているが、今回の予算案にも費用が組み込めなかった。協会より一定額の援助がないと、研究部予算の節約のみでは費用の捻出は不可能であると発言があった。過去の情報とこれからの情報を一度に移行するのではなく、まずは新規ホームページを作成

して、そのあと数年かけて過去の情報を移行する方法が現実的ではないかという意見もあり、引き続き会長校にも働きかけながら東地区部会として検討していくことになった。

6. 2018年度運営委員と研修委員について

研究部担当理事校成城大学より、役員会資料（P.22）に基づき報告があり、協議の結果、承認された。

また、次期の研修委員会には研修事業の内容や地域研修のローテーションなどについて再検討するように依頼したいと発言があった。

7. 私立大学図書館協会東地区部会役員校等選考に関する申し合わせ事項について

部会長校東海大学より、役員会資料（PP.23-27）に基づき、以下のとおり説明があり、協議の結果、承認された。

変更点は以下のとおり。

- ・「大学図書館協力ニュース」編集委員会は2017年3月末日で廃止となった。
- ・「GIFプロジェクトチーム」は2018年3月末日で廃止となる。
- ・「研究のあり方に関するワーキンググループ」は2015年のみで廃止となった。

[懇談事項]

1. 2018年度東地区部会総会・館長会・研究講演会の開催(案)について

部会長校東海大学より、役員会資料（PP.30-31）に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・2018年6月8日（金）に共立女子大学 神田一ツ橋キャンパスにて開催予定。
- ・2017年11月17日（金）に部会長校東海大学、研究部担当理事校成城大学、共立女子大学で第1回事前打合せを行った。

各会場の場所について候補を選んだが、女子大学ということで各建物に入館する際のセキュリティが高いことなどを考慮して、図書館への見学コースを含め、学内で調整をさせていただいている。

2. 東地区部会役員校、総大会当番校の選出について

部会長校東海大学より、役員会資料（P.32）に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・2020年度の総大会当番校は明治大学に確定した。なお、東京オリンピック開催時期に重なることから9月16日～18日の日程で開催を予定している。
- ・2021年度、2022年度の東地区部会長校ほか各理事校、総大会当番校、部会総会当番校、2023年度、2024年度会長校を打診中である。部会長校より、今後も引き続き候補の大学の情報提供をお願いしたいとの依頼がなされた。

以上